

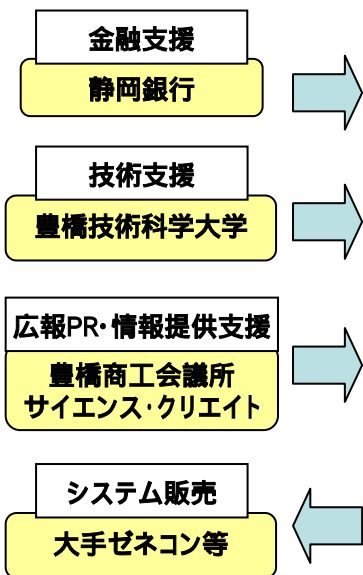
地域	愛知県豊橋市	認定日	平成18年10月20日	4 - 18 - 031
事業分類	製造(一般機械)	テーマ分類	環境	

## 事業名: 高濃度酸素溶解装置を用いた画期的な水質浄化システムの開発、販売事業

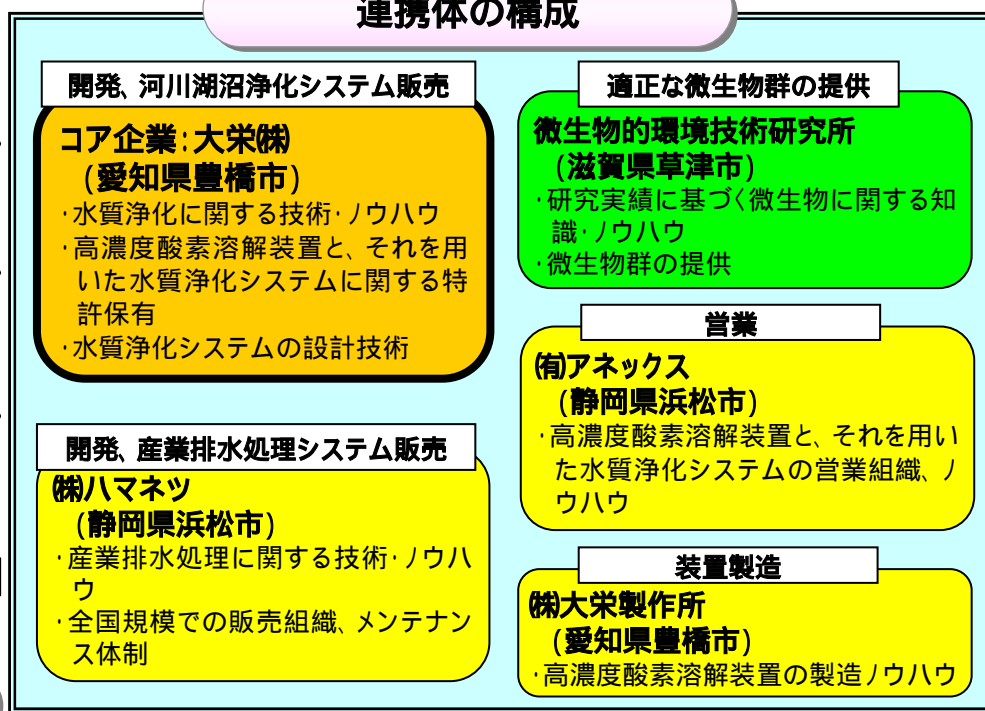
### 事業概要(新規性、市場性等)

- ・コア企業大栄(株)が開発した「高濃度酸素溶解装置」を用いて、河川・湖沼や、産業排水の汚泥、浮遊物質を好氣的に処理する、安全かつ効率よく水質を改善、浄化するシステムを開発・販売する事業。
- ・空気曝気(水の中に空気を送り込んで溶解する)方式と比較して、高濃度の溶存酸素水を大量かつ容易に供給することが可能となり、水中の有機物を分解する好気性微生物群が活躍する水中の溶存酸素環境を整える。
- ・自治体等による実証実験の結果も良好。工業用排水や農畜産用排水を排出する企業等へも一部販売実績あり。

### 事業推進体制



### 連携体の構成



### 支援予定メニュー

信用保証  
補助金



河川・湖沼浄化システム



産業排水浄化システム

## 連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業大栄㈱は、当初、魚の養殖用として「高濃度酸素溶解装置」を販売。平成10年に「和歌山県田辺市背戸川浄化」事業で、連携参加者である微生物的環境技術研究所が、河川の水中酸素富化のために本装置を採用した。この実績を受けて、「河川・湖沼浄化システム」の原型ができた。
- ・また、大手企業も結果が出せなかった排水処理案件を持っていた㈱ハマネツに、従来から大栄㈱と販売協力体制にあった(有)アネックスが、本装置を紹介しその基準をクリアすることができた。このことで、排水浄化に関しての協力体制ができあがり、本事業において「産業排水浄化システム」の開発、販売を行うこととなった。
- ・本事業で開発、販売をする「河川・湖沼浄化システム」と「産業排水浄化システム」においてキーとなる「高濃度酸素溶解装置」の開発者であるコア企業大栄㈱が中心となり、本事業を推進する。
- ・また、もう一つのキーは“微生物・水・ミネラル等の働きと重要性に関しての知識ノウハウ”であり、これは微生物的環境技術研究所の長年の研究実績によるものであり、大栄㈱との改善・研究を重ねた結果、両システムの開発が可能となる。
- ・本事業の推進のために、それぞれの者がお互いの経営資源を求め合うことで連携体を組成しており、今後も円滑な事業運営を行うことが可能である。

## コア企業の会社概要

企業名・代表者	大栄㈱ 代表取締役 森田 通夫	
所在地	441-3104 愛知県豊橋市雲谷町字外ノ谷279	
創業	昭和54年4月	
資本金・従業員数	1,000万円	5名
業種	各種プラント設計・開発	
T E L	0532-41-7878	
F A X	0532-41-6789	
ホームページ	<a href="http://www.daiei-tha.com">http://www.daiei-tha.com</a>	
e-mail	<a href="mailto:daieitha@sala.or.jp">daieitha@sala.or.jp</a>	

## PR等その他の情報

- ・河川湖沼浄化システムについては台湾で商談が進んでおり、次年度には売上計上される見込み。
- ・産業排水処理システムは、高濃度、高負荷の排水を処理できるため、複数の企業と商談を展開中。
- ・本事業にかかる今後の展示会への出展予定は次のとおり  
「びわ湖環境ビジネスメッセ'2006」 2006年10月25日(水)～27日(金)滋賀県立長浜ドーム  
「中国国際工業博覧会」(愛知県ブース) 2006年11月1日(水)～5日(日)上海新国際博覧中心  
「FOOMA JAPAN'2006【国際食品工業展】」 2007年6月5日(火)～8日(金)東京ビッグサイト  
2006年1月18日(木)・19日(金)に開催される「東海地域クラスターフォーラム」にも出展予定